

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果 (H27. 12/2~14)

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で毎日収集した大気1m³あたりの浮遊放射性物質の濃度(ミリベクレル/m³)を測定しました。

(ミリベクレル/m³)

測定地点		採取日	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	
小高区	川房公会堂 (川房)	Cs134	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出									
		Cs137	不検出	0.38	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出							
	金房小学校(※) (飯崎)	Cs134	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出								
		Cs137	不検出	0.24	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出							
塚原公会堂(※) (塚原)	Cs134	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
	Cs137	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
原町区	横川ダム (馬場)	Cs134	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出								
		Cs137	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出								
	原町保健センター (小川町)	Cs134	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出								
		Cs137	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出								
	高平生涯学習センター (下高平)	Cs134	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出								
		Cs137	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出								
	市立総合病院(※) (高見町)	Cs134	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出								
		Cs137	不検出	0.22	不検出	0.17	不検出	不検出	不検出	不検出						
大原公会堂(※) (大原)	Cs134	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
	Cs137	不検出	不検出	不検出	0.18	不検出	0.28	0.38	0.48	0.54	不検出	0.24	不検出	0.56		
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	Cs134	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出								
		Cs137	0.16	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.74	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
	鹿島区3-3消防屯所(※) (南海老)	Cs134	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出								
Cs137		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	

※検出限界値はおおむね0.2~0.3mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、放射能濃度が検出限界値未満の場合、「不検出」と判定されます。

※「※」印の箇所は、平成27年6月1日から新しく観測を始めた場所です。

★渡邊正己京都大学名誉教授(市放射線健康対策委員会委員長)による解説★

今回は、大原公会堂で頻りにセシウム137が観測されました。しかし、その濃度は0.18~0.56mBq/m³の範囲にあり、このちりやほこりを一生体内に取り込み続けても健康影響(注1)を心配する濃度には遠く及びません。他の観測点では、117サンプル中6サンプル観測されるに留まり、全体的に飛散の回数は減少する傾向にあります。

(どれくらいの量だと健康に影響があるかは正確には判りません。現在、南相馬市で観測されているセシウム137の飛散濃度を1mBq/m³として、その空気を1年間吸い続けたときの被ばく量を計算すると、総被ばく量は、およそ0.00021mSvとなります。この値は、日本人が年間に被ばくしている総線量(2.1mSv)の1/10,000以下と極めて小さい値であり、事故後、環境中に残っている放射性物質の飛散による健康影響はないという結論が得られます。